

「生きること」
「学ぶこと」
「働くこと」
の大切さを学ぶのが
キャリア教育です。



自分
探しの
旅

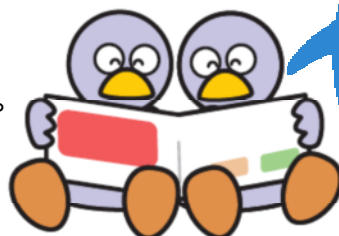


「夢」や「生き方」「人生」「進路」について、ともに語り合いたい……

今日、社会の急激な変化のなか・・・、
大人も子どもも、自分らしく生きることにとまどっています。

そんな今を生きる子どもたちに、
「学ぶこと」の大切さ
「働くこと」の喜びや厳しさ
そして、「生きること」の素晴らしさ……。

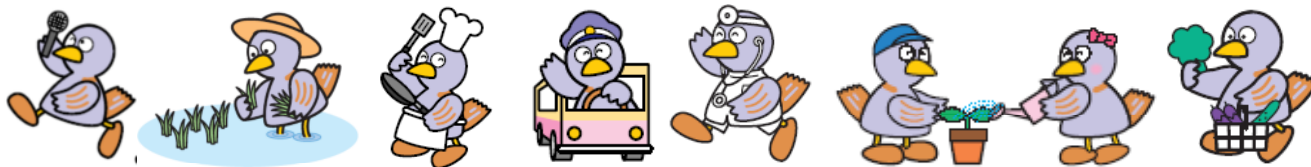
それらを教えていくのが、
キャリア教育です。



この資料を活用して、家族で「生き方」「人生」「夢」「将来」などについてともに語り合ってください。保護者の方はお子さんに自分の経験などを話してあげてください。子どもたちが将来を見つめる上で、大きなヒントになるかもしれません……。

家庭で進めるキャリア教育

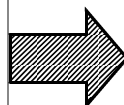
埼玉県教育委員会キャリア教育推進資料 中学校(生徒・保護者)用



埼玉県では、「生きること」「学ぶこと」「働くこと」を大切にしたキャリア教育を推進します

小学校でのキャリア教育

- ・毎日の学校生活や当番活動から、働くことの大切さを学びます。
- ・様々な体験活動から、働くことや生きることへの意欲を高めます。
- ・将来の夢を考えることから、「学びの大切さや」「今がんばることの大切さ」を教えます。



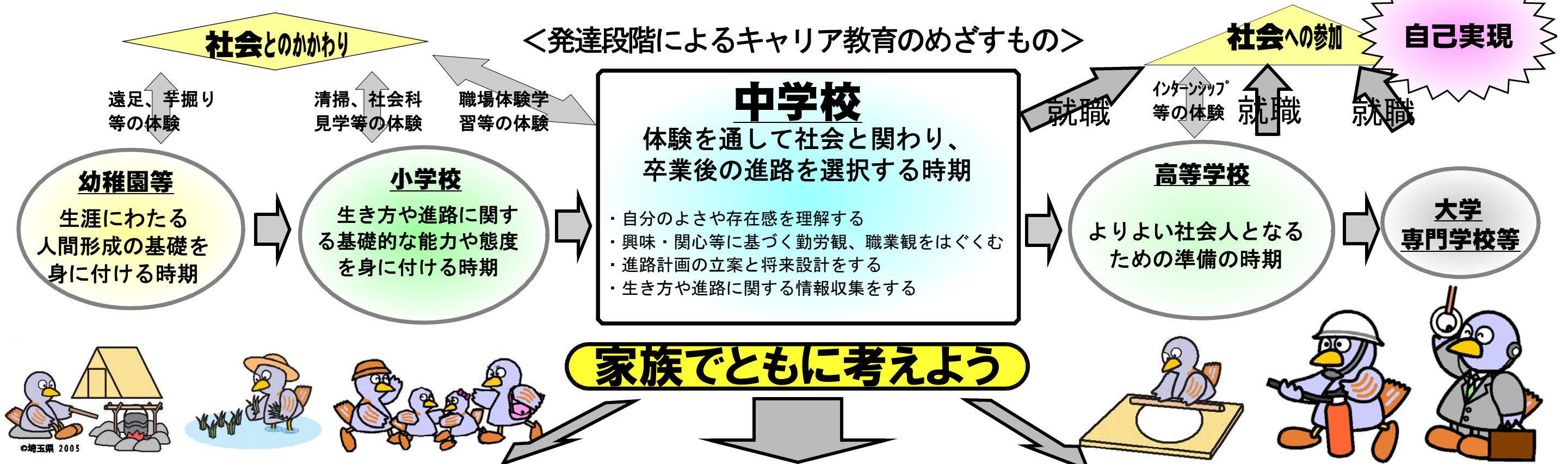
中学校では

- ・毎日の学びから、社会的自立に向けて努力する力をはぐくみます。
- ・様々な体験活動から「生きること」「学ぶこと」「働くこと」の重要性を学びます。
- ・自己実現に向けての進路選択を支援します。

年 組 名 前

キャリア教育とは、子どもたちが将来の夢や希望をもてるよう、体験等を通して「望ましい勤労観、職業観」を育てる教育です

— 児童生徒を自立した社会人に育てるために —



＜今までの自分を振り返ろう＞

小さい頃の自分はどんな子だったか。家族に聞いてみよう。

○どんな「よさ」がありましたか？

○何に興味を示していましたか？

○家族の一員としてどんな役割や仕事がありましたか？

○好きなことは何だったでしょうか？

＜今の自分を見つめてみよう＞

中学生の今、自分自身のことを考えてみよう。

○自分の長所や性格は？

○なぜ学んでいるのでしょうか？

○働くということはどういうことでしょうか？

○今、努力していることは何でしょうか？

＜将来の自分を想像してみよう＞

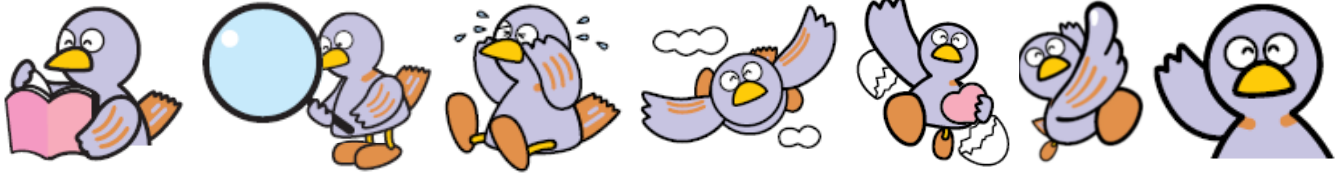
将来の自分について家族と一緒に考えてみよう。

○特技や得意なことは何でしょうか？

○中学卒業後の進路の希望や将来の夢は何でしょうか？

○進路や将来について知りたいことは何でしょうか？

○将来について、保護者としてのアドバイスを聞いてみよう



キャリア教育 Q & A

Q1 / なぜ、今、キャリア教育が必要なのですか？

A1 /

ニートの増加等、子どもたちが生きていく上で大切な、「働くこと」や「生きること」の課題が大きな社会問題になっています。

一方、これまでの学校教育を振り返ってみると、学校での学習と「生きること」や「働くこと」との結びつきが弱かったということが指摘されています。

そこで、小学校段階から児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育むキャリア教育は、すべての子どもたちに「生きる力」をはぐくむ教育として、今だからこそ、必要なのです。

Q3 / キャリア教育を推進していくと、どのような効果が期待できるのですか？

A3 /

キャリア教育で、子どもたちは自分の人生を大切にすることを学びます。すると、自分の人生の大切さとともに、他者の人生の尊さにも気づきはじめます。そして、他者の生き方を尊重し、他者に優しくなることが期待されます。また、人間関係を築く能力や目的の実現に向け努力する態度が身に付くことにより、失敗や困難を乗り越え、再び挑戦しようとする意欲があふれてきます。さらには、豊かな人間性、学ぶことや働くことへの関心、自立する力などが育成されることとなります。それが学力向上、そして、進路実現に一步一步結びつきます。

Q2 / 小学校からのキャリア教育は、なぜ必要なのですか？

A2 /

小学校の時期、児童は将来の生き方や職業への「夢」や「希望」を膨らませます。こうした「夢」や「希望」は直接、進路の選択に結びつくものではありませんが、家庭や地域の信頼を支えに、「将来への可能性」と「今をがんばる力」を生み出すエネルギーとなります。小学校段階は生き方や進路に対する基礎的な考えや能力を養う時期です。この時期からのキャリア教育のスタートが、自分を見失わない大人への成長の第一歩となります。

Q4 / 家庭では具体的にどのようなことをすればよいのですか？

A4 /

家庭は、子どもの成長を支える最も重要な場であり、心の居場所でもあります。勤労観や職業観を身に付け、社会性などをはぐくむ上においても、家庭の役割はとても大切です。

家庭で行うことはお子さんとともに語り合うことです。お子さんと将来や夢、仕事についても語り合ってください。幼少期から基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

お手伝いをさせましょう。働くことの喜び、厳しさをたくさん語ってあげましょう。学校の活動に積極的に参加し、子育てなどについて考えましょう。

キャリア教育について、インターネットで調べてみてください

文部科学省ホームページ(<http://www.mext.go.jp/>)

埼玉県教育委員会ホームページ(<http://www.kyoubu.spec.ed.jp/>)

埼玉県の国わくわくこどもページ(<http://www.pref.saitama.lg.jp/>)など

発行 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課